

TD 勉強会情報 4

米国オンライン TOP 10

2001 年の米国の TOP 10 Online Travel Agency は、グロス \$ 9.5B (¥1.15 兆)、前年比 1.5 倍の成長を遂げている。 その実績は以下のとおりである。

(ranked by 2001 gross bookings) (US \$M)

	2000	2001	Change	Owner
1. Travelocity	2,500	3,128	25%	Sabre
2. Expedia	1,800	2,903	61%	USAI
3. Priceline	1,217	1,162	-5%	
4. Orbitz	----	800	----	5 Airlines
5. Hotel.com	305	509	67%	USAI
6. Hotwire	----	325	----	6 Airlines +
7. Cheap Tickets	255	285	12%	Cendant
8. WorldRes	147	246	67%	
9. OneTravel.com	80	99	24%	Amadeus
10. Trip.com	50	25	50%	Cendant
Total (10 services)	6,534	9,482	49%	

(注) Orbitz launched in June 2001

Hotwire Launched in November 2000, but 2000 revenues were negligible

Travel booking only, Internet bookings only

Peiceline investors=General Atlantic Partners, Hutchison Whampoa and Cheung Kong

Hotwire investors =Texas Pacific Group, America West, AA, CO, NW, UA, US Airways

この成長が持続するのだろうか？ 特にエアラインのベース コミッション カット後にオンラインは生き残れるのだろうか？

業界としては、答えは **YES** であるが、個々のオンライン別には、話は違ってくる。エアラインとの十分なスケール交渉が無いが、或いはホテル・バケーションとクルーズへの多角化に遅れるオンラインは、厳しい環境に直面するだろう。

特記事項および展望は以下の通り。

エアライン所有の **Orbitz** と **Hotwire** の新規参入

たったの7ヶ月で **Orbitz** は **TOP 3** に急成長している。大きな差別化のポイントである、殆ど全てのエアライン **Web** 運賃の独占販売権は、今後も維持出来るのだろうか？ 現在進行中の **DOJ** 審査結果が **Orbitz** 事業をフルにエンドースするのであれば、**2002** 年には 軽く **\$ 2B (¥24 百億)** を超える企業に成長するだろう。
Orbitz は、多角化も進展させている。 **Travelweb.com** (マーチャント ホテル サイト) との提携を開始している。

オペーク運賃の **Hotwire** は **2000** 年 **11** 月に開業した。規模は小さいものの、着実に成長している。競争相手のオークションサイト **Priceline** を追い抜こうと積極的な販売促進を展開している。

Profitability

Travelocity ・ **Expedia** ・ **Priceline** ・ **HRN (Hotel.com)** は、全て一応、利益計上している。**GAAP** (generally accepted accounting principles) で利益計上したのは **HRN** である。その他は皆、何がしかの特記事項つきである。

Expedia non-cash and non-recurring items

Travelocity profit before special items

Priceline pro forma profits

Trip.com と **Cheap Tickets** を買収した **Cendant** は、**2001** 年の成績が悪かった両社の建て直しが喫緊の課題となっている。

Sabre の **Travelocity** 残余株 **30%** のバイアウト、**USA Interactive** の **Expedia** 残余株のバイアウト等、オンライン トラベル業界の話題には事欠かない。

コンソリデーションの進展に加えて、これらの動きは、テレビ視聴者 (USAI) や ハワード ジョンソン (Cendant) の顧客達を含む新たな マス マーケットへ、オンライン トラベルを進出させるだろう。

成功者の影で、Biztravel.com の閉鎖 (shut)、Lowestfare.com の停止 (crippled)、そして最近では LowestAirFare を運営する 800 Travel System の会社更正法適用申請の、市場からの撤退もしくはシェアの大幅減少を余儀なくされている者達が居る。

Market Dominance

TOP 3 が上記 10 社合計の 76%を構成する寡占市場である。 小規模旅行社の多い 3 万店以上がひしめくオフラインとはまったく違っている。 オンライン エージェンシーの所有者は、GDS の Sabre、USA Interactive, ホテル フランチャイザーの Cendant とメジャー キャリアーである。 オンライン テクノロジー (インターネット) によって、新規参入者が加わり、GDS 一辺倒のトラベル ディストリビューションの世界が様変わりしている。

現在全米旅行社売上のたったの 7%と小さく、オンライン市場は、成長力の有る大きい市場であるので、これからも新規参入が続くだろう。

(以上)

出展 PhoCusWright 社

Can Online Travel Agencies Sustain Their Growth? 26 March 2002